

**製品名: PAX-8 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21145**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	PAX8
別名	Paired box protein Pax-8
遺伝子 ID	7849.0
SwissProt ID	Q06710
免疫原	ヒト PAX8 の組み換えタンパク質

**背景**

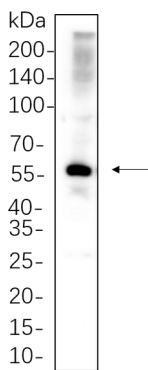
細胞局在: 核。この遺伝子は、ペアードボックス (PAX) 転写因子ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子ファミリーの

メンバーは、通常、ペアードボックスドメイン、オクタペプチド、およびペアード型ホメオドメインを含むタンパク質をコードします。この核タンパク質は、甲状腺濾胞細胞の発達と甲状腺特異的遺伝子の発現に関与しています。この遺伝子の変異は、甲状腺形成不全、甲状腺濾胞癌、および非典型濾胞性甲状腺腺腫と関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年3月]

## 研究分野

-

## 画像データ



L929 全細胞ライゼートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PAX-8 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッキングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。